

平成22年度 第1回市民企画事業補助金審査委員会 会議録

- 1 日 時 平成22年8月12日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 クリエイトホール第5学習室
- 3 出席者 委 員：和田委員、前野委員、檜原委員、岡本委員、江頭委員、甘利委員
事務局：松日楽協働推進課長、山口主事

4 会議当日配付資料

- (1) 議事次第
- (2) 委員名簿
- (3) 資料1 八王子市市民企画事業補助金交付要綱(案)
- (4) 資料2 市民企画事業補助金平成23年度補助対象事業募集要項(案)
- (5) 資料3 平成22年度市民企画事業補助金事務日程(案)
- (6) 資料4 平成23年度市民企画事業補助金交付の審査に関する取扱要領(案)
(審査フロー、審査体制・方法・審査項目(案)及び審査シートを添付)
- (7) 資料5 平成22年度交付団体情報交換会の実施概要(案)
- (8) 参 考 審査委員名簿

5 議事進行

<協働推進課長の進行により開会>

協働推進課長あいさつ

各委員の自己紹介

事務局職員の紹介

委員長、副委員長選任

委員からの提案により、次のように決定

委員長 : 和田委員

副委員長: 前野委員

<以降は、和田委員長が進行>

会議の公開について(事務局:協働推進課長)

非公開:個々の採択事業の審査に関する会議

採択事業決定後は、その会議録を公開する。

公 開:それ以外の会議および公開プレゼンテーション

22年度補助事業の募集について

新任委員を2名迎えたこともあり、募集の説明に先立ち、本制度の概要、また、本年度の方針について説明（山口主事）。

<質疑応答>

委員：度々議題にあがる事ではあるが、力のある団体が事業名を変えて応募してくる事は団体を自立させるという観点から考えると、好ましくないと考えるが、この点についてはどうか。

委員：同じ団体でも実際に事業をまわしているメンバーが変わっていれば問題ないと思うが。

委員：私の印象では、メンバーの世代交代が行われているという感じはしない。

事務局：事務局の考え方だが、昨年度お示した考えと同じく、個別に事業の必要性などを勘案し、審査していただく事に対応を考えたいとしている。本補助金の主旨としては、団体の自立もそうであるが、また、市民の創意工夫による事業を募ることにもあるため、以前補助を受けていた団体であるから応募を受けないという事は主旨に反する部分もある。但し、勿論団体の自立についても主旨の一つであることから、過去に補助を受けた事業がどうなったか等の点については詳細を把握し、審査委員会へ報告し、その上で必要性など、各応募事業について審査をしていただく必要があると考える。

委員長：事務局側で周辺情報を把握し、審査委員会へ伝えること。その上で事業の必要性を踏まえ、審査を行う。こういった形で対応をしていくこととする。

委員：異議なし。

（続いて、23年度補助事業の募集について資料1・2により事務局説明：山口主事）

<質疑応答>

委員長：事務局から提案事項はあるか。

事務局：必要な応募書類の中に団体の役員名簿を入れる事を提案する。提案を行う経緯としてだが、まず、昨年度事業の中で、補助金事故があり、補助金返還する事となった。その件について、先方の都合により年度中の返還ができず、現在も手続きを進めているところであるが、今回のケースについては、当該団体は団体として形は成しているものの、実質的に代表個人で会の運営や補助金手続きを行っていたことや、団体名簿もない事から会員へ満足に連絡もできず、代表一人で補助金返還に係る一切を請け負う事となり、結果として年度内の精算も出来なくなってしまった。こういった事態に対応するため、団体内の役割分担や責任の所在を明確にさせていただく

めに、役員構成について名簿化して、提出していただく事をお願いしたいと考える。一方で、名簿を提出させるというのははじめから団体のことを疑っている、と、取られかねないかなどの懸念もあるため、委員会の意見を頂戴したい。また同時に、年度内において交付団体へ向け、相談事項がないか募るなどのフォローも検討している。

委員：単なる団体名簿では勝手に名前を貸すようなケースも想定されるので、あまり効果がないのではないか。

委員：応募団体の立場で考えれば、役員名簿の提出を求められるのは、かなりのプレッシャーだと思われる。

委員：少し論点がずれてしまうかもしれないが、別の自治体の事例で、自治体で管理している団体ライブラリーがあり、このような補助金に応募する際には、そのライブラリーへの登録を義務付けるという事例がある。八王子市にそういったライブラリーがあるのであれば応募の際等に活用できるかもしれない。

事務局：八王子市では、「ゆめおりファンド」という市民活動支援のための事業があり、それと連動した団体ライブラリーがある。活用していきたいと考える。

委員長：役員名簿の話だが、これまでの話を勘案すると、名簿そのものを書類として提出してもらうのはあまり好ましくないという意見が多い。何か他に意見はあるか。

委員：今回の事務局提案は、団体名簿をもらうという事により団体内の役割を明確にしてはどうか、という提案である。であれば、団体内の役割分担が明確になっていれば良いのであるから、例えば応募書類の様式1に現在は団体の代表者と連絡責任者を書くようにしているので、ここの情報を増やす等で対応できないか。

委員：会計責任者について情報を記載してもらうのはどうか。市からの補助金を扱うのだから、その面を明確にするのは大事だと考える。今回の事務局提案の主旨にも適うものではないか。

委員：現在連絡責任者として記載しているが、事業の責任者を記載してもらうのはどうか。

委員長：委員会からの提案事項としては、団体の名簿を取ることに賛同しかねるが、団体内部での役割分担を明確にするために、様式1へ会計責任者や事業責任者の情報の追記を提案する。年度内の団体へのフォローについては無理のない範囲で実施してもらいたい。

事務局：記載項目等については、いただいたご意見を踏まえ、近日中に様式の案を作成し、

各委員へ送付、判断を仰がせていただく。

審査及び日程について

(資料3・4により事務局説明：山口主事)

<質疑応答>

委員：事務局から提案事項はあるか。

事務局：先ほども少し話の出た件だが、八王子市では市民活動の支援のため、様々な事業を行っているところ。例えば先ほどの「ゆめおりファンド」。これはデータベースに団体情報を登録し、情報開示を行う事で、企業から寄付された物品のマッチングなどの恩恵を受けることができるシステムである。

また、「NPO経営支援アドバイザー派遣制度」。これは、市内の中小企業の経営支援団体であるサイバーシルクロード八王子のビジネスお助け隊との協働事業で、その名の通り経営の専門家であるアドバイザーをNPOへ対して派遣し、その経営支援を行うというもの。団体の自立へ向けて、是非活用してほしいと考えている。

これらの活用を各団体へ促し、補助金を出すだけの関係ではなく、様々な面から、団体の支援を行っていきたいと考える。

委員：推奨するのは大いに結構だが、強く押しすぎるのはどうか。支援とはいえ、あまり押し付けがましいと、団体も萎縮してしまうのが懸念される。

委員長：押し付けがましくなるとはいけない事については同意。推奨するに留めるのが望ましい。

委員：異議なし。

事務局：そのように対応する。

委員長：他に何か提案、報告事項はあるか。

事務局：兼ねてより、タイトルを変えただけの事業の応募がある等、審査委員会において話題に挙がっていた出版事業についてだが、事務局の考えとしては、やはり出版事業そのものに規制をかけるという事は、市民の創意工夫を求める本制度の趣旨に反する事と考え、現状では考えていない。一方で、本制度への問い合わせで「自費出版へ補助金が出ると聞いた」のような、誤った問い合わせを頂く事もしばしばある事から、公益性等の審査項目を基に判断するという事を改めて明示する必要があると考え、配付資料にあるように募集要項内に入れ込むQ & Aに出版についての項目を設けた。

委員：事務局案では言い方が若干強いのではないか。要項を読む団体の事を考えれば、「～公益性などの審査項目に沿って審査します」までで良いと感じる。

委員長：同意である。他に委員から意見はあるか。

委員：異議なし。

委員長：委員会としては、事務局案の修正を要望する。

事務局：対応する。

22年度情報交換会について

(資料5により事務局説明：山口主事)

- ・本年度も開催予定。内容に関してはこれから詰めて行く。

<調整事項>

- ・第2回審査委員会の日程について

2月5日(土)午前10時半から、北野市民センターを予定。今後、不都合が生じれば再度調整する。

- ・第3回審査委員会の日程について

2月23日(火)午後1時半から、クリエイトホールを予定。今後、不都合が生じれば再度調整する。

その他

事務局、委員会ともに連絡事項特になし。

閉 会